

ふるさと研究ニュース

2010年5月 第11号

所沢市生涯学習推進センター
ふるさと研究グループ



「ふるさと研究活動」は、子どもからおとなまで、幅広い世代の市民のみなさんの参加により、ふるさと所沢の自然・歴史・芸術・文化・産業など、様々な分野の資料や情報を集め、調査・研究を深めてゆく活動です。「所沢のことをなんでも知りたい！」方のご参加をお待ちしております。

ふるさと研究講座“探究編”を6月に開催します!!

昨年度好評だったふるさと研究講座「入門 所沢市史」に続き、所沢の自然・歴史・文化についてより深く学べる講座を企画しました。所沢は全国的な知名度がありながら、「特徴は？」と問われると一言で言えない場合が多いのではないのでしょうか。しかし、所沢を特徴づけるキーワードは数多くあります。“探究編”は、それらのキーワードを掘り下げて学ぶことによって、所沢の特徴を探り出していこうという講座です。

今回は「クローズアップ所沢」と題し次のような内容としました。



- | | | |
|------------|------------------------|-----------------------|
| 第1回 (6/19) | 所沢航空事始 航空発祥100年 | キーワード「航空発祥の地」(分野: 航空) |
| 第2回 (6/26) | ハウレンソウから見た所沢の農業 | キーワード「ハウレンソウ」(分野: 産業) |
| 第3回 (7/3) | 武蔵野台地の特性 | キーワード「武蔵野」(分野: 自然) |
| 第4回 (7/10) | 竹製品“安松ざる”の文化 | キーワード「安松ざる」(分野: 民俗) |

開催日時は毎回土曜日午後2時～4時、定員は先着50人です。6月1日(火)午前8時30分から電話による申し込みを受付けます。詳しくは、翔びたつひろば6月号かポスター・チラシをご覧ください。

今回の“探究編”は、「市民学芸員」制度の一環としても位置づけています。

ふるさと研究では、市民の皆さんにボランティアとして活動を支えていただくため、市民学芸員制度をスタートさせます。今秋には、博物館のことや資料の取り扱いについて学ぶ「市民学芸員養成講座」を開催しますが、所沢についての知識を深める講座も併せて設定していきます。その初回が今回の講座です。修了者には修了証を発行し、規定の修了証を取得された方を「市民学芸員」として認定いたします。市民学芸員は、ふるさと研究が開催する事業により深くご参加いただける制度です。興味のある方は、まずは今回の講座に是非ご参加ください。

5月にご覧いただける展示など

場 所	内 容
常設展示室	所沢の歴史・まゆの七変化・自然など
メモリアルルーム	並木東小学校の「記憶」
南棟3階階段脇掲示板 ミニ写真展	吾妻地区の移り変わり 松井地区の移り変わり 5月13日(木)まで 5月14日(金)から
3階中央棟廊下壁 今月の航空写真	元町～峰の坂周辺 中央公民館建設記



所沢市生涯学習推進センター ふるさと研究グループ

〒359-0042 埼玉県所沢市並木六丁目4番地の1

Tel:04-2991-0308 Fax:04-2991-0309 Mail:b29910308@city.tokorozawa.saitama.jp

一面でもお伝えしたように、今年度いよいよ「市民学芸員制度」がスタートします。

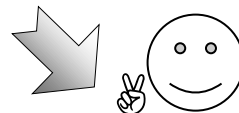
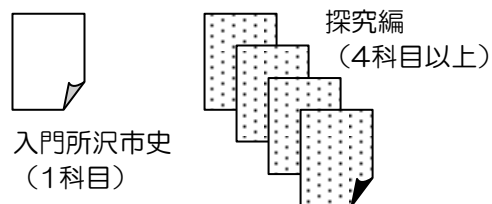
市民学芸員は、展示解説や街歩き企画への同行など、ふるさと研究活動の様々な場面でご協力いただくとともに、将来の博物館活動に向けて、関心のある皆さんにより深く関わっていただくため発足するものです。

市民学芸員になるには、すべての必修科目と一定数の専門科目を修了していただく必要があります。「入門所沢市史」(全2回)など、複数回の講座は全回出席しないと修了証が発行されませんが、6月に開講する“探究編”講座は、1つの「キーワード」、1つの講座ごとに1枚の修了証が発行されます。探究編の内容は年度で異なり、いずれも所沢についてより深く学べる厳選した内容でお届けします。秋以降に開講の市民学芸員養成講座では、博物館活動についての基本知識や、資料の取り扱い方などの実習を学んでいただきます。

「市民学芸員」の資格を取得された方には、展示など事業の際に協力をお願いをしたり、現地調査や資料調査など「調査プロジェクト」への参加のご案内があります。

もしかしたら、「市民学芸員」の方だけに開かれた何かの企画があるかもしれません。

皆さんのご参加を心よりお待ちしております。



市民学芸員



SL公園のD51



ふるさと研究市民トピック vol.11

小手指町一丁目の小手指公園は通称“SL公園”と呼ばれています。昭和52年5月5日に開園し、以後、形式D51(D51118)蒸気機関車(通称デゴイチ)を展示した公園として長く親しまれています。平成15年には車両が全面的に塗り替えられました。

このデゴイチは、昭和13年に製造され、以後38年もの間、北海道を242万キロ(地球を60周分)駆け巡った蒸気機関車です。蒸気機関車の展示は昭和48年頃から検討されました。所沢市と西武鉄道と国鉄(当時)が協議して借り受けることになりました(現在も借用中)。当時はSL公園ブームでした。各地で引退した蒸気機関車を展示した公園がつくられ、構想時には埼玉県内でも4~5園はあつ

たといいます。

開園当時、デゴイチとともに展示室も設けられました。西武鉄道の関係資料



や鉄道写真が展示され、初期レッドアローの座席や車掌服などがあったそうですが、その後いたずらによって展示室の外壁が壊されたためセキュリティー上閉鎖を余儀なくされました。

昭和52年は北野土地区画整理事業が完了し「小手指町」という地名が誕生した年です。同45年に開業した小手指駅も同54年には橋上駅となり、駅周辺の開発が急速に進んで、小手指町の人口は急増しました。